

裁判所書記官養成課程 第二部研修生

Our Pride

裁判官と同じく、
司法にとって欠かせない
存在でありたい

名古屋家庭裁判所 裁判所事務官

澤田 真吾 (H30採用)

出身学部 経済系学部

山口家庭裁判所 裁判所事務官

小早川 明星 (R2採用)

出身学部 薬学系学部

東京地方裁判所 裁判所事務官

宮下 紗季 (R2採用)

出身学部 経済系学部

入所試験の勉強はどのようにしましたか。

澤田:先輩職員や裁判官に教えてもらって勉強しました。

小早川:私も裁判官が開催する勉強会に参加し、答案添削や解説をしてもらいました。また、仲間と互いに相談したり、励まし合ったりしたことも合格に繋がったと思います。

宮下:学んだ経験がなかった刑法には重点的に取り組みました。

大学等で法律を専門的に学んでいない
ことで困ったことはありますか。

宮下:疑問点は、講義中のグループ討議や休み時間中に他の研修生と互いに相談することで解決できるものが多いため、行き詰まることはそこまでありませんでした。

小早川:教官に相談すれば、講義後でも丁寧に質問に答えてくれますね。

澤田:確かに、疑問点を解決できる手立てはけっこう多いと思います。

クラスの雰囲気や寮生活について
教えてください。

澤田:講義の合間は、昨日何をしていたかという話で盛り上がり、ワイワイしていることが多いですね。

宮下:そうですね。良い雰囲気で研修を受けられています。

小早川:寮では、「おはよう」と挨拶し合える環境が心地よく、スポーツをして息抜きすることもあるので、勉強とプライベートでメリハリをつけて過ごすことができています。